

日本医学放射線学会次々々期（平成 32 年度）会長の選出

公益社団法人 日本医学放射線学会
選挙管理委員会

次々々期会長（平成 32 年度）の決定は、以下の方法にて行うものとする。

記

1. 会長候補者になろうとするものは、選挙管理委員会が定めた期日（平成 29 年 2 月 29 日）までに所定の用紙を用いて、氏名、所属する施設名、生年月日、経歴および所信を記載し学会に届けなければならない。推薦人は必要としない。
届け出用紙は学会事務局に請求すること。
2. 選挙管理委員会は、会長候補者全員のリストを作成し代議員に送付する。
3. 代議員は上記候補者リストの中から 1 名を代議員会（総会）で選挙し選出する。この候補者リスト以外からの選挙は出来ない。

会長選挙の投票は平成 29 年 4 月の日本医学放射線学会代議員会（総会）にて行ないます。

第 31 回日本腹部放射線学会

日本医学放射線学会理事長 本田 浩

第 31 回日本腹部放射線学会を下記のごとく開催致しますので、多数のご参加をお願い致します。

会 期：平成 29 年 6 月 30 日（金）～ 7 月 1 日（土） 会 場：旭川市大雪クリスタルホール

会 長：高橋 康二（旭川医科大学 放射線医学講座） 代表理事：森 宣（大分大学 放射線医学講座）

◆**演題募集要項**：①討論を主体にした口演発表、②展示発表、③問題提示クイズ形式と致します。尚、症例数やそのバランスにより①、②、③の形式を変更させて頂くことがあります。

(1) 募集する腹部疾患（III, IV, V は必ずしも組織学的裏づけを必要としません）

I：組織学的裏づけがありそれをもとにした討論が可能な症例。II：組織学的裏づけがある教育的症例。III：興味深いあるいは稀な画像所見を呈した症例。IV：検査時点での迅速な画像診断が IVR などの治療方針決定に特に重要であった症例。V：IVR など、治療前後で興味深い病態の変化などを示す画像が得られた症例。

(2) 口演発表では、病理医をコメンテーターとして迎え、質疑応答を行います。

(3) 演題の応募は学会ホームページを用いたオンライン登録のみでの受付とします。

演題応募には、筆頭演者は「日本腹部放射線学会 正会員登録」が必要となります。尚、平成 28 度及び平成 29 年度の年会費納入者に限ります（筆頭演者変更時も同様です）。学会ホームページ (<http://www.jsar.jp>) 「会員登録」よりご登録頂き、発行されました会員 No を入力し演題登録画面にお入り下さい。（既に会員登録をお済みの方はご自身の会員番号でご入力頂けます。）**平成 28 年 11 月 10 日（木）開始**の演題抄録登録画面より記載に従って入力して下さい。

(4) 発表形式は①口演発表、②展示発表、③問題提示クイズ形式のいずれかをオンライン登録上でご選択下さい。口演発表は過去の学会同様に「International Session」を設けますので英語の選択が可能です。尚、演題の採否及び発表形式については本学会の大会長に一任下さい。演題採否と発表形式の決定は演題登録時にご登録頂いたメールアドレス宛に御連絡差し上げます。平成 29 年 4 月中に学会ホームページにプログラムを掲示致しますので、そちらでもご確認下さい。

(5) 演題登録後、学会開催前にオンライン登録上で「プレデジタルアトラス」形式で発表内容を事前入力して頂く事が必須となります。病理コメンテーターが上記プレデジタルアトラスの病理像のみでは診断が困難と判断される場合は、学会当日に病理プレパラートをご持参頂くよう大会運営事務局より事前にご連絡させて頂きます。プレデジタルアトラスに十分な病理像をアップロード願います。

(6) 学会当日参加費が今回より正会員（¥5,000）、非会員（¥15,000）となります。但し、医学生、初期研修医、大学院生（正会員）は無料、後期研修医、大学院生（非会員）は¥5,000 です。

◆**演題締切日**：平成 29 年 2 月 8 日（水） 正午

◆**第 31 回学会当番施設**：旭川医科大学 放射線医学講座 E-mail: jsar2017@asahikawa-med.ac.jp

日本腹部放射線学会事務局：大分大学 放射線医学講座 E-mail: jsar@oita-u.ac.jp